

(平成15年4月現在)

	1年	2年	3年	合計	教員数
学級数	3	3	3	9	24
生徒数	120	117	113	350	

1. 本年度当初抱えていた「総合的な学習の時間」の課題について

本校では平成16年度より「総合学科」へと移行し「総合的な学習の時間」の実施は平成16年度からとなる。しかし、「総合学科」への移行を見据えて、平成9年度から「産業社会と人間」の授業を展開してきており、現在も継続され成果をあげている。この「産業社会と人間」をどのように「総合的な学習の時間」と連携させ、発展させて行くのが今後の課題である。

2. モデル地域としての研究主題をどのように受け止め、どのような目標設定をしたのか。

平成15年度は町内小中学校との情報交換や交流を通して、小中学校での「総合的な学習の時間」について理解を深めることに努めた。

3. 平成15年度の実践内容・成果と課題

平成15年度は「総合的な学習の時間」モデル事業の推進委員会に所属し、町内の小中学校の実態の理解が深まった。

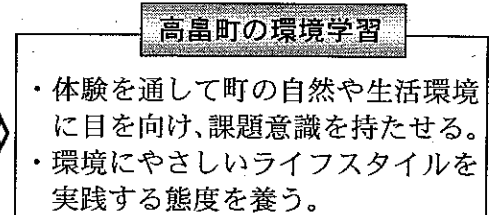
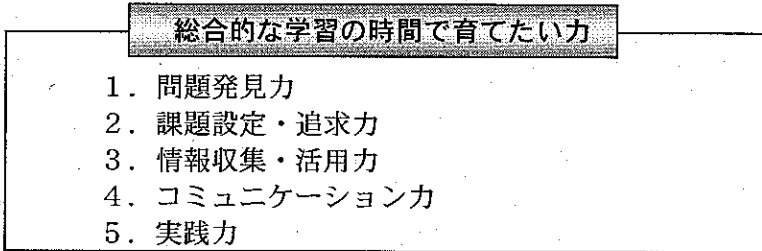
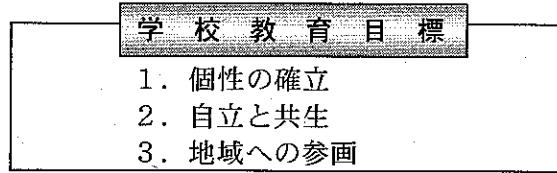
総合学科である本校には、選択科目群の「地域環境系列」があり、自然や農業等の地域の特性を生かした産業に関する学習をし、環境と人間社会の調和をテーマにする生徒もいる。今後は、このような特長を生かし、「総合的な学習の時間」だけにとどまらず、小中学校と生徒・職員が積極的に交流ができるのではないかと考えている。

4. 平成16年度の実践（全体計画の見直した際の視点）

- ①平成15年度の推進委員会の中で理解が深まった小中学校の授業展開の実態をふまえて、人的交流を中心とした連携を考える。
- ②「総合学科」の選択科目群である「地域環境系列」のスタッフや生徒を生かす視点に立ち、授業実践のレベルでの小中学校との連携を模索する。
- ③「自己の生き方」を考える視点から「生徒に育てたい力」を具体化し、小中学校との情報交換を進める。

総合的な学習の時間の全体計画

山形県立高島高等学校



「総合的な学習の時間」 科目名：「ライフプランニング」の目標

- (1) 中等・高等教育終了後、個々の青少年がより豊かな自己理解、体験的な進路探索と長期的な進路設計に基づいて適切な進路を主体的に選択決定させる。
- (2) 高校卒業後の社会生活の中で十二分な社会的・職業的な自己実現を図るのに必要な資質能力を組織的・計画的に育成する。

各学年の「総合的な学習の時間」の目標

各学年のテーマと領域（内容）

- 2 年
- ・インターンシップを通して 職業生活の理解を深め、自己のライフプランの作成に当たっての課題を発見する。

- 2 年
- ・職業生活を知る。（インターンシップ）
 - ・自己の進路を考える。（自己の人生設計）
 - ・自己の課題を発見する。
 - ・個別課題研究へのアプローチ

- 3 年
- ・自己のライフプランを実現するに当たっての課題解決の方法を学ぶとともに、現在解決できる課題に取り組む。

- 3 年
- ・個別課題の確定
 - ・体験的調査・研究（インターンシップ）
 - ・調査・研究のまとめ

